

共に生きるために

アジア学院

アジア学院の学生たちはそれぞれ夢や想いを胸に巣立っていき、持続可能な農業、教育、医療、難民支援、女性の地位向上、土地所有問題、植林活動などに関わり、「共に生きる」ための種を世界にまいています。時には、夢や想いが、国や地域、家族の事情等でなかなかうまくいかないときもあります。しかし、学生たちは皆、アジア学院やお世話になった人々への感謝や、アジア学院で過ごした日々を宝物として、夢を叶えようと努力を続けています。

仕える指導者

サーバント リーダーシップ
Servant Leadership

「差別のない人間関係を築き、
人々に寄り添える人」
が学院の目指す
リーダー像。



アジア学院の3つの柱

フードライフ

フード ライフ
Food Life

「食べ物といのちは互いに切り離せない」という事を表すアジア学院の言葉。

共同体形成

コミュニティ ビルディング
Community Building

多様な豊かな共同体を作り上げるために、一人一人の特徴を尊重し、助け合う。

研修概要

毎年4月から12月までの9カ月わたる研修は、有機農業による自給自足を基本とした共同生活です。食べ物を生産するために必要な肥料や家畜の餌を自分たちで作る、座学・農業実践などの技術習得のみならず、リーダーシップ、参加型学習法、ジェンダー、差別問題といったコミュニティリーダーに欠かせない課題を学び合います。



卒業生の ザチボル・ラコーさん へインタビュー

彼女は男性優位のインド社会のクックノ村の出身。女性への教育が認められていない社会の中で、学びを続け、立場の弱い女性たちが自立するためのグループ作りに向けて活動をされてきました。現在はアジア学院の職員として、活躍されています。



Q. アジア学院で学び、感じたことは？

国籍、文化、宗教を超えた様々な人が集まり、性別に関わりなく、分け隔てなく活動していることに驚きました。それぞれが明確な目的と向学心をもって学び、共同生活のなかで本当に多くのものを得ることができました。

Q. ザチボルさんが、今日まで精力的に活動を続けることができたのは何故ですか？

私の故郷では、女の子は学校へ行く必要がないとされていました。私も学びを続けていくことを諦めかけた時、母が教育の必要性を教えてくださいました。自分自身が変わり、社会を変えたいと強く願ったことがモチベーションとなり、活動を続けられました。

Q. 男女共同参画社会について、どう思いますか？

男女平等とは、できる人ができることをするというものだと考えています。女性も男性もそれぞれを尊敬し、責任を分かち合うことが大切だと思っています。

Q. 将来の夢は？

いつか、自分の生まれた故郷へ帰り、故郷の人々の為に尽くしていきたいです。



【誰もがきりりセミナー】 高校生出前講座

日時：平成29年10月16日(月)
会場：栃木県立那須拓陽高等学校

「高校生が描く男女のきりり社会」～自分らしさを大切に～

中高生へのデートDV※防止啓発のため、県男女共同参画地域推進員市連絡会による朗読劇やワークショップを行いました。ワークショップでは、高校生自らデートDV劇を演じ、デートDVとはどういうものなのかを学んだうえで、デートDVをしない・されないためにはどうすれば良いのかを話し合いました。また、恋人との関係だけではなく、友達や人との関係をより素敵なものにするためにどうすれば良いのか、誰もが自分らしく生きていくにはどうすれば良いのか、高校生たちは一人一人が真剣に考えていました。



デートDV劇
あらすじ
女子高生のみるくには幼なじみの恋人がいます。誰もがうらやまラブカップルでしたが、実はみるくには人に言えない悩みがありました…

高校生の感想



好きだからといって、何をしても良いということではないと思いました。好きだからこそ、お互いを大事にしていく必要があるなと思いました。

デートDVに関する劇を見て、友達等でも身近に起こる問題かもしれないと思いました。どんな人とも対等な立場で、自分の意見をしっかり持ち、付き合っていくことが大切だと思います。

DVはなかなか人に相談できることではありませんが、一歩踏み出し、勇気をもって人に話すことが大切だと思います。自分で解決するのは難しいけど自分の意見も言えるようにした方がよいと思います。

何かあっても暴力を振るうのは良くないです。その時の感情だけで行動せずに、相手の立場にもなって物事を考えるべき。常に相手の気持ちを考え、行動すべきだと思います。

※デートDV…交際中のカップルの間で、一方が他方に対して繰り返し行う暴力のこと

- 身体的な暴力 (殴る・蹴る・モノを投げる、など)
- 精神的な暴力 (ひどい言葉を言う、無視する、相手の携帯をチェックする など)
- 経済的な暴力 (お金をたかる、借りたお金を返さない など)
- 社会的な暴力 (家族や友達との関係を制限する、外出を制限する など)
- 性的な暴力 (キスやセックスを強要する、避妊しない など)

相手との関係によって、暴力の呼び名は変化します

夫婦(子ども含む場合も)…DV
親子……………虐待
友達……………いじめ



～デートDV防止パンフレットを作成しました～

中学生・高校生を対象としたデートDV防止のための啓発パンフレットを市内の中学3年生、高校3年生に配布します。1/70億とは「世界にたった一人のあなた」へ向けたメッセージです。自分がデートDVをされていないか、どうすれば自分らしさを大切にしたい素敵な関係を築くことができるのか、この機会に是非考えてみてください。



みるひも暴力をなくすための運動に参加しているモー

ハーブリボン
女性に対する暴力をなくすためのシンボルリボンです。